

琉球大学学術リポジトリ

ブラウンバックセミナーの記録

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学国際沖縄研究所移民研究部門 公開日: 2018-11-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24564/0002010131

ブラウンバックセミナーの記録

琉球大学国際沖縄研究所移民研究部門では、旧移民研究センター時代から不定期にブラウンバックセミナーを開催しています。これは昼食時間に希望者が集まり、お弁当を持ち寄る形式の勉強会です。茶色の紙袋にサンドイッチなどを入れて持ち寄っているのが、ブラウンバックと呼ばれているそうです。セミナーでは本当にお弁当を食べながら話題提供者のお話を聞いたり、その話題をもとに参加者が議論をしたりしています。セミナーの時間は午後の授業が始まるまでの40分程度です。これまで17回のセミナーが行われました。話題提供者の顔ぶれをみると、移民研究部門のスタッフのほか、学内外から様々な方がおられます。分野も年齢も様々です。特に、外国から琉球大学に来られた際にセミナーで話される方も多く、移民研究にふさわしい国際色豊かな会になっています。次に17回行われたブラウンバックセミナーの一覧表を掲載します。移民研究部門の重要な活動の一つとして今後も開催していきたいとスタッフ一同考えています。

表 ブラウンバックセミナー一覧

回 (日 付)	発 表 者(所 属) タイトル
第1回	前山 隆(静岡大学元教授) 「同伴移民について」
第2回	森 幸一(サンパウロ州立大学准教授) 「ブラジルの移民社会」
第3回 (2006年3月10日)	ロバート・仲宗根(WUB, Worldwide Uchinanchu Business Association) 「ウチナーンチュネットワークについて」
第4回 (2006年3月10日)	辻原 万規彦(熊本県立大学環境共生学部) 「旧南洋群島に残る日本委任統治時代の建築物」
第5回 (2006年3月29日)	城田 愛(日本学術振興会 特別研究員(PD), 国立民族学博物館 外来研究員) 「ミュージアムにみる沖縄移住者たちの生活の場： 沖縄、日本、ハワイ、南米に立地する博物館施設の事例から」
第6回 (2006年7月4日)	仲程昌徳(琉球大学法文学部) 「ハワイ移民の表現」
第7回 (2006年7月21日)	大原朋子(一橋大学大学院社会学研究科・院) 「南洋群島引揚者の記憶 - 『サイバン会誌』の分析から - 」
第8回 (2007年7月19日)	金城宏幸(琉球大学法文学部) 「沖縄社会の越境的ネットワーク化とダイナミズム - 第4回世界のウチナーンチュ大会参加者アンケートを中心に - 」
第9回 (2007年11月2日)	塩出浩之(琉球大学法文学部) 「戦前期ハワイの中国系住民と日系住民」

回 (日付)	発表者(所属) タイトル
第10回 (2007年12月3日)	Joyce Naomi Chinen (Professor of Sociology, University of Hawaii, West O'ahu) 「Okinawan Identities & Communities - Locally and Globally」
第11回 (2008年6月27日)	飯高伸五(日本学術振興会特別研究員PD/筑波大学) 「沖縄出身移住者の周縁性と創造力 - サイパン, パラオ, 鶴見, 川崎の事例から -」
第12回 (2008年7月25日)	佐藤 万里江(東京大学大学院総合文化研究科・院) 「ハワイのオキナワ料理 - 越境的ネットワークと文化形成 -」
第13回 (2009年1月13日)	上水流 久彦(県立広島大学地域連携センター・助教) 「沖縄と台湾の境界領域における越境実践と生活圏構築 - 東アジア社会における政治経済的「周辺」からの脱却に向けて -」
第14回 (2009年5月14日)	徳森りま(沖縄国際文化交流青年会・代表), 山城・大久保・興太・ルベン(沖縄国際文化交流青年会・副代表) 「若い世代の日系人ネットワークづくりの実践」
第15回 (2009年9月4日)	Akemi Johnson (Visiting Research Fellow [国際沖縄研究所 移民研究部門・研究交流員]) 「Fostering a Positive Japanese American Identity over Generations」
第16回 (2009年10月2日)	リリーアン優美・ウェルテル (フルブライト大学院博士課程・カリフォルニア大学サンタバーバラ校) 「Multiracial People Over 40 in Okinawa: Immigration and Transnational identity」
第17回 (2009年11月2日)	Ryan Masaaki Yokota (Japan Foundation Research Fellow Doctoral Candidate, History Department, University of Chicago) 「頑張ってアンド：ロサンゼルス在住の沖縄系ペルー人の歴史」